

気持ちや思いは日々変わっていきます。
決めなくていいのです。
何度も繰り返し話し合うことが大切です。

◆わしくは厚生労働省または三木市のホームページをご覧ください。

<厚生労働省>
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html
ホームページ→  ACPチラシ→ 

<三木市>
<https://www.city.miki.lg.jp/site/acp/>
ホームページ→ 



人生会議は個人が**主体的**に考え、進めるものです。

知りたくない、考えたくない方への十分な**配慮**が必要です。

三木市在宅医療・介護連携支援センター(三木市高齢福祉課)

☎ 0794-83-0333

大切な人と話す 人生会議

～アドバンス・ケア・プランニング(ACP)～

あなたに“もしものこと”があったとき、

あなたが望む医療やケアについて、

あなた自身が考えて、

信頼する人などと繰り返し話し合うことを

人生会議
(アドバンス・ケア・プランニング)

といいます。

だれでも、いつでも、命に関わる大きな病気やけがをする可能性があります。

命の危険が迫った状態では、約70%の方が、医療やケアなど、自分で決めたり、望みを誰かに伝えることはできなくなると言われています。

これから的人生をあなたらしく生きるために、今、あなたが大切にしていることを、まわりの人と話してみませんか。

もしものとき、私の思いや考えを代弁してくれる人は誰かなあ。

私が好きなこと、大事にしたいこと、してほしくないことも考えてみよう。



希望する医療やケアをうけるため、もしもの時に信頼する人が困らないように、あなたの思いを周囲に伝えておくことが重要です。

話しあいの進め方

これからの医療やケアについて、何度もくりかえし考え、話し合いましょう



①大切にしたいことを
考えてみましょう



②信頼できる人は誰か
考えてみましょう



④話し合いの内容を大切な人や医療・介護関係者に伝え共有しましょう



③信頼できる人や医療・
介護関係者と話し合いましょう

三木市で配布している
「じぶんノート※」に
書いておくのもいいね。

元気なときから考えて
おくことが大切だよ。

※「じぶんノート」は三木市生活安全課空き家対策係で配布しています。